

北東北から発信する
ものづくりの力

北東北から全国へ。

地元の魅力を発信し続けている人たちがいる。
彼らの想いは、人々や地域を動かす。

いくつもの**初心**を超え
スキルを上げてゆく

竹中雅人さん



技を磨くために
自ら学び自ら行動する

1970年に設立された「盛岡セイコー工業株式会社」。セイコーインスツル（SII）グループのウオッチ生産拠点として、世界最高水準の品質と精度を誇る高級メカニカルウオッチの製造と、最先端の製造ラインによるクォーツウオッチ用ムーブメントを製造している。

ここで代表取締役社長を務める竹中雅人さんには、大切にしている言葉がある。

「初心忘るべからず」

誰もが一度は耳にしたことがあるだろう。室町時代、父・観阿弥とともに能を大成した世阿弥が『花鏡』に書き残した言葉だ。一般的に「初めの志を忘れてはならない」という意味で使われるが、この言葉には続きがある。

「是非の初心忘るべからず。時々
の初心忘るべからず。老後の初心
忘るべからず。」

「世阿弥のいう『初心』は初めに身につけた技は忘れずに積み重ねていくことで、次につながるというもの。それは、人生の時々、老後にもあり、忘れてはならないということです。私の経験では、自分の分野だけでなく他分野も広く知り、仕事に生かしている人は、この『初心忘



1 「雫石高級時計工房」は、高級メカニカルウオッチの部品製造から組立まで一貫して行っている。ムーブメントの組立・調整を行うのは、精鋭中の精鋭の職人たち。てんぶや歯車の組立は、微妙な噛み合わせを指先で察知しながら行う。2 最薄のムーブメントの厚さは2ミリにも満たない。3 雫石高級時計工房内のみで販売されるオリジナルウオッチ。回転錘に「雫石高級時計工房」の刻印入りで、文字盤とベルトを選ぶことができるセミカスタムオーダー。



M a s a t o T a k e n a k a

〔初心〕

いつも初心に立ち返り、自分の技を見直し、さらに工夫を加え、新しいことに挑戦していくことで、技術は進歩し、自分を磨くことができる。竹中社長は、「新しいことに取り組むときは、この初心を忘れず、謙虚な気持ちで」と話す。

盛岡セイコー工業株式会社

■ 岩手県雫石町板橋61-1 ■ TEL 019-692-3511
■ <http://www.morioka-seiko.co.jp/>



「この考えは、盛岡セイコー工業の行動指針のひとつ「人を育て、技術を育て、自ら学び自ら行動する」へとつながっている。そして、これを象徴しているのが同社内にある「雫石高級時計工房」だろう。高級メカニカルウオッチを部品製造から完成品の組立・調整まで一貫して行っている。時計技能士が、ひとつひとつ手作業で、厚さ2ミリにも満たない世界最高水準の薄さの中にゼンマイ、軸受けなど100以上の部品を自らの手でわずかな調整を加えながら組み込み、極めて繊細な機械式腕時計を仕上げている。

また同社では、機械式腕時計の魅力を伝えるため、年1回「メカ時計セミナー」という体験プログラムを実施している。これは、小学5年生以上を対象に、機械式腕時計の分解・組立などを体験するもので、日本各地からメカ時計ファンが集まる。中には、セミナーに参加したのをきっかけに入社した者もいるという。

時計づくりは、熟練技能と先端技術の融合といわれる。これはあらゆるものづくりにあてはまる。引き継がれた技術に新しい工夫を加えて、次代へ引き継いでいく。そこには、初心を忘れない、謙虚さも必要であろう。